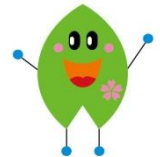




# 光春小だより

- 元気な子
- 思いやる子
- 考える子



H29. 1. 31

練馬区立光が丘春の風小学校 校長 福田 純子

春風ちゃん

〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1 Tel 3976-5861 Fax 5383-3592

## 得たもの

校長 福田 純子

10月後半からいきなりの入院、そして手術が続き、約3か月に渡る長いお休みをいただきました。保護者や地域、関係機関の皆様には、大変ご迷惑やご心配をおかけし、本当に申し訳ございません。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

お陰様で、まだ無理はききませんが、少しずつ学校に復帰するまでに快復し、教職員と共に再び歩き出すことができました。

久しぶりの学校は、冷たい空気の張り詰めた体育館で、全校児童と教職員が笑顔で私を迎えてくれました。「わあ～、校長先生だ!」という子供たちの歓声に包まれて、私はとても幸せでした。

病室の窓をよぎる雲が子供たちの顔と重なり、点滴の滴りを数えながら命を見つめた日々が、すべて報われた気持ちでした。

お産以外は入院の経験もなく、もう何年も町医者にもかからず、毎年人間ドックも欠かしたことがなかった自分に起こるはずのなかった今回の件は、もちろん辛い事ではあったけれど、教育者として得たものも、実にたくさんありました。

その内の一つは、患者と共に命と向き合い、時には壮絶とも言える闘いに挑む人々の存在が、私たちの日常と並行して常にあったという事実です。

大学病院での手術は10時間に及びました。全身麻酔から覚めた私を労う主治医に、私は逆に、これに耐える医師の体力と集中力の源を問わずにはられませんでした。「それはね、福田さんたちの仕事と同じですよ。目の前の患者に淡々と自分の最善を尽くす。それだけです。」

私が(滅多に見せない)弱気を出した時には、「ぼくたちは、福田さんを現職に戻すために、外科のチーム皆で頑張っているんですよ。」という有り難い言葉をいただきました。

今回、私が関わった3つの病院では、病院内のチーム体制のみならず病院間でも最新医療による情報共有と連携が行われ、それは迅速な対応と安心感につながりました。そして、主治医は、たくさん情報を元に課題を把握し、患者と共有して見通しを示し、意欲を支えて実行し、結果を次の課題に結び付けました。これは、教師の仕事と同じです。私たちも負けずに、子供たちの未来のための仕事を続けなくてはなりません。

さらに、得たものの一つとして伝えたい事に『鬼手仏心』という言葉があります。

入院中、数え切れない程の採血がありました。ある看護師さんが「採血は上手い下手がはっきり出て嫌なんです。一般的には、優しい人の採血ほど痛いと言われるんですよ。」と言うのを聞いて、はっとしました。細い血管を見極めあやまたずに針を打てるのは、相応の技術と経験に裏付けられてこそです。自信のなさや曖昧さをごまかす優しさは決して仏心ではなく、進歩は望めません。

鬼手仏心の最たるものは、もちろん外科医です。『鬼手』だけが勝っていても、『仏心』だけが勝っていてもおそろしい事です。その両者に優れバランスがとれている主治医に巡り会えた私はラッキーでした。そして、今、振り返ってみると、その信頼感こそが、自分が病に打ち勝つ大きな力であったと思うのです。

この3か月間、医療の現場を見つめ、得たものの多くは教育現場にもあてはまるものでした。

それらを、子供たちの未来のために生かしていくことが、留守中にご迷惑をかけた皆様や、病院でお世話になった皆様へのご恩返しだと思って、日々を大切に過ごしていきたいと思えます。

## 道徳授業地区公開講座

道徳担当 岡村 悦子

1月14日（土）に道徳授業地区公開講座を行いました。この講座は、道徳の授業を保護者や地域の方々に広く公開し、学校における道徳教育のあり方や家庭・地域社会との連携について、相互の理解を深めることをねらいとしています。

本校では、今年度、オリンピック・パラリンピック教育重点校（障害者理解の促進）として、障害者理解の学習や体験、障害者との交流を通じ、多様性を尊重し、心のバリアフリーを図ってまいりました。

これらの取組を生かし、1・2校時に全学級で障害者理解の促進に関するテーマで道徳授業を行いました。3・4校時には、体育館で4・5・6年児童と保護者、地域の方々が参加し、講演会を行いました。

講演前には、オリンピック・パラリンピック教育重点校としての実践報告会を行い、本校で推進してきた教育活動を紹介しました。

パラリンピック金メダリストの成田真由美さんによる講演会では、度重なる苦難を乗り越え、自分の可能性を信じて挑戦を続ける成田さんの生き方に勇気と元気をいただきました。



## 校内書き初め展

書写担当 大戸 郁

本校では、校内書き初め展を1月13日（金）～22日（金）に実施しました。

どの子も力を高め、素晴らしい作品を仕上げることができました。文字を整えて書くということ、漢字の練習や作文、連絡帳を書くときなどに意識して、続けてほしいと思います。

### 【展示内容】

- 硬筆作品 1・2年
- 毛筆作品 3年「美しい心」  
4年「流れる星」  
5年「進む勇氣」  
6年「新たな決意」

優秀作品は、1月28日（土）・29日（日）に開催された「第64回 練馬区小中学校連合書きぞめ展」（於：練馬区立美術館）に出品されました。



## 二分の一成人式

4年担任 大縄 亮彦

1月14日(土)に「二分の一成人式」を行いました。歌やリコーダー奏、好きなことの発表を通して、今までの感謝の気持ちやこれからの決意を伝えました。多くの保護者に見守られ、子どもたちは張り切っていました。二分の一成人式を終えての児童の感想を紹介します。

### 1組

二分の一成人式が「おめでとう」で終わってはいけないと思いました。二分の一成人式が終わって終わりではなく、これからも十年後に向けていろいろとがんばらないといけないと思います。(M・R)

二分の一成人式をやる前までは「今までありがとう」など思ったことはありませんでした。けれども、二分の一成人式をやることになって、感謝の気持ちを伝えたいと思いました。(H・N)

二分の一成人式で3つのことを学びました。1つ目は「自分を大切にする。」、2つ目は「友達を大事にする。」、3つ目は「育ててくれた人、支えてくれた人に感謝する。」です。これからも、この3つを、忘れません。(I・S)

お母さんたちに気持ちを伝えられたのがよかったです。あと10年で成人なので、この10年の目標は夢を見つけることです。(I・K)

自分たちのパフォーマンスをみんなで協力できたこと、みんなのパフォーマンスを見たことが楽しかったです。これから、すてきな大人になれるように、10年後の成人式に向けて頑張りたいです。(H・N)



### 2組

みんなで合唱をしている時、ぼくが赤ちゃんだった時から今まで育ててくれたお母さんやお父さんのことを考えたら、なみだが出そうでした。ぼくは、もう二分の一成人になったんだということをそのとき感じました。(F・K)

私は家族にがんばっていることを伝えられたらいいなと思いながら二分の一成人式をしました。とくにダブルダッチは家族にとんでいるところを見せたことがなかったので「こんなことができるようになったんだ」と思ってもらえるようにがんばりました。パフォーマンスで二重とびやダブルダッチがうまくなれたのは友だちやお母さんを見て「できるようになりたい」と思ったからです。今度は、はやぶさにちょうせんしたいです。(S・N)

いま二分の一だから、あと十年先のぼくはどんなに大きくなるか、六年生の卒業式の時、手形・足形がどれだけ大きくなるか、楽しみです。(K・T)

今まではあまり深く考えなかったけれど、これからはいろいろな人に感謝の気持ちを持てるようになりたいと思いました。また直接お礼が言えなくても「いただきます」などのあいさつを、心をこめて言ったり大切に長く使ったりすれば気持ちは伝わるのではないかと考えました。(Y・M)

## 2月の行事予定

日	曜	時程	ひらば	行事予定
1	水	通常		クラブ発表集会①
2	木	通常		委員会
3	金	通常	○	社会科見学（3年） なわとび月間終
4	土			
5	日			
6	月	通常	○	全校朝会 安全指導
7	火	通常		遠足（5組）
8	水	通常	○	クラブ発表集会② 学校関係者報告
9	木	通5		5組午前授業 春小チャンピオン
10	金	特4	○	
11	土			建国記念の日
12	日			
13	月	通常	○	全校朝会 社会科見学（6年）
14	火	通常		新一年生説明会 1・2年午前授業
15	水	特4	○	
16	木	通常		たてわり班活動 クラブ
17	金	通5	○	避難訓練 誕生日給食
18	土			
19	日			
20	月	通常	○	全校朝会 保護者会（5組）
21	火	通常		
22	水	通4	○	クラブ発表③
23	木	通常		クラブ クラブ見学（3年）
24	金	水6	○	
25	土			
26	日			
27	月	通常	○	全校朝会
28	火	通常		

＜2月の生活目標＞ 進んで体をきたえよう

＜2月のあいさつ目標＞ 外遊び「いっしょに遊ぼう」声かけて

生活指導部 笹木 望美

風邪やインフルエンザが流行する季節となりました。すすんで体を動かし、3食バランスのよい食事をとり、十分な睡眠時間を確保して、子供たちには、健康的に毎日を元気に過ごさせたいものです。「休み時間、声かけ合って外遊び」を合い言葉に、春小みんなで体力を高めて、冬を乗りきらせていきます。

また、空気が乾燥しているこの時期は、手洗い・うがいをすることも、病気の予防として大切なことです。ご家庭でもお子さんに声をかけていただきますよう、よろしくお願ひします。